

解 答 速 報

関西医科大学(後期) 英語

2021年2月27日実施

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|-----|---|------|-----------------------------|---|---|---|---|
| I | 1 | ① | 0 | ② | X | ③ | X | ④ | 0 | ⑤ | 0 |
| | 2 | what | | 3 | キ | | | | | | |
| | 4 | その方法は、素早く心を落ち着かせ、何も考えない状態に到達するのに絶大な効果を及ぼすものだから。 | | | | | | | | | |
| | 5 | (5) | イ | (6) | ア | 6 | around six breaths a minute | | | | |
| | 7 | (8) | エ | (9) | ア | (10) | ウ | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|---|------|---|-----|------|-----|------|-----|---|------|---|
| II | 1 | (1) | イ | (2) | エ | (3) | オ | (4) | ウ | (5) | ア |
| | 2 | (6) | イ | (7) | ウ | (8) | ア | (9) | オ | (10) | エ |
| | 3 | not | | 4 | [12] | イ | [15] | オ | 5 | イ | |
| | 6 | that | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----|---|------|---|------|---|------|-----|----------|------|--------|
| III | 1 | (1) | ア | (6) | ウ | (7) | エ | (15) | イ | |
| | 2 | (2) | イ | (3) | エ | (4) | ア | (5) | ウ | |
| | 3 | [8] | エ | [11] | ア | 4 | (9) | inspired | (10) | facing |
| | 5 | (12) | ア | (13) | イ | (14) | エ | | | |

<解説>

I

1[内容一致・不一致] 「本文に従い、以下の文が正しければ“0”を、間違っていれば“X”の文字をそれぞれ自分の解答用紙に記入せよ」

- ① 0 「1分間に約6回息を吐く呼吸ペースは人の脳と体を休めるのにとっても効果的である」
 第3段落第3文に「特定の呼吸回数、つまり1分間に約6回息を吐くことは、特に回復に役立ち、脳と体に『緩和的応答』をもたらす」とあり、この文内容は正しい。
- ② X 「マインドフルネスと同様、呼吸法の歴史はとても浅く、100年未満である」
 第5段落から、呼吸法は古代のテキストにある教えに触発されたものであり、特にヒンドゥーやヴェーダの聖典において呼吸を制御することの重要性が長い間賞賛されてきたことがわかる。従って、呼吸法(についての探求)は100年前にはすでに存在していたと考えられるため、この文内容は誤りである。

③ X 「呼吸法はマインドフルネスの言い換えであり、その2つの間にはほぼ違いはない」

第6段落第2文が根拠となるが、空所に答えが入ることが前提となってしまう。正解の単語が入った場合のおよその意味は「しかし、マインドフルネスは受動的な観察、つまり『呼吸に注意すること』に関わる傾向がある一方、呼吸法は呼吸の仕方を能動的に変えることを必要とする」である。従って、この文内容は誤りである。

④ O 「呼吸法は鬱、不安障害、不眠症の症状を軽減させるのに効果的である」

第9段落第2文に「ゆっくりとした深い呼吸は鬱や不安といった症状を緩和するのに役立ち、不眠症を軽減することにも役立つようである」とあるので、この文内容は正しい。

⑤ O 「呼吸することで、胸部周辺の感覚神経を効果的に刺激することによって、脳波に変化をもたらすことができる」

第12段落より、肺を最大限膨らませた時に、胸部周辺の感覚神経が反応して、肺の拡がりを感じする感覚器が作動し、また、息を吐く時に横隔膜を緩めることによって起こる胸部の動きは心臓へと血液を送り込む血管に圧力を与え、動脈中の別の感覚器を作動させることがわかる。第13段落より、2つの感覚器からの信号は脳幹へと送り込まれるが、その結果ゆっくりとした脳波が生じることがわかる。従って、胸部周辺の感覚神経に対する刺激は、脳波に変化をもたらす原因であると言えるので、この文内容は正しい。

2[空所補充] 「空所(1)に、'W' で始まる最も適切な語を入れよ」

(1) “What more could we learn about this most basic instinct?”

「この最も基本的な本能について、私たちは他にどのようなことを学べるであろうか」

空所を含んだ1文の構造を分析すると、他動詞 learn の直後に目的語がないことから、空所には learn の目的語の働きをもつ疑問代名詞が入ることがわかる。候補として挙がるのは what または which のいずれかとなるわけだが、which は予め何らかの選択肢が提示されて場合に用いるので、この場合 which は不可となり、what が正解とわかる。なお、what more で「他にどのようなことを」という意味である。

3[空所補充] 「空所(2)と(3)に入れるべき単語の組み合わせとして正しいものを、以下の選択肢から選び、「ア」から「ク」の文字で答えよ」

2つの空所を含む第6段落第2文のおよその意味は「しかし、マインドフルネスは(2)観察、つまり『呼吸を観察すること』に関わる傾向がある一方、呼吸法は呼吸の仕方を(3)変えることを必要とする」である。

ここでは、マインドフルネスと呼吸法について対比的に述べられている。何かを観察することと何かを変える方法は、前者が passive 「受動的」であり、後者は active 「能動的」だと考えられる。空所(2)には observation を修飾する形容詞が入り、空所(3)には change を修飾する副詞が入る。その予想の根拠となるのが、第7段落第1文における“~, compared to more passive mindfulness exercises” という表現である。また第9段落第1文では“the effects that seem to go above and beyond the benefits of mindfulness without active breath control” とある。

以上から選択肢の組み合わせはキ、passive—actively とわかる。

4[内容説明] 「リッチー・ボストックが、自分の教えている手順の一部を 'Meditation on Rocket Fuel' (下線部(4)) と呼ぶのはなぜか。本文中の表現を用いて日本語で簡潔に説明せよ」

下線部(4)の直後に“because of ~no-thought.”とあり、ここが解答の根拠となる。この部分をそのまま訳すと、「素早く心を落ち着かせ、何も考えない状態に到達することに対してその方法が及ぼす絶大な効果が原因で」となるが、設問に対する適切かつ自然な解答とするには、「その方法は、素早く心を落ち着かせ、何も考えない状態に到達するのに絶大な効果を及ぼすものだから」というように、“the profound effect it has on ~” という名詞のかたまりを文に展開してまとめるとよい。なお、ここでの it は下線部の Meditation on Rocket Fuel を指す。

have effect on ~ 「~に対して効果を及ぼす」

5 [空所補充] 「空所(5)と(6)を埋めるのに正しい表現を以下の二つの選択肢の中から選び、「ア」と「イ」の文字で答えよ。」

まず選択肢は、ア rest-and-digest は「休息と消化反応」、イ fight-or-flight は「戦うか逃げるかの反応、攻撃・逃走反応」などと訳し、自律神経系の反応を表すときに用いられる用語。

- (5) “This is an essential element of the nervous system that is thought to be particularly important in dampening the (5) response after a threat has disappeared.”

「これは、脅威が消えた後、(5)の反応を抑える際に、特に重要であると考えられる神経系の不可欠な要素である」

dampen は「～を弱める、抑える」の意。脅威に出くわして生じるのが fight-or-flight の反応であることを考えると、「脅威が消えた後」にはその反応は必要ではなくなると予想できる。よって(5)にはイを選ぶ。

- (6) “It allows the body to focus on things that are basically restorative or nourishing,” ~ — a state that is often known as “(6)”.

『それは身体が、基本的には回復的ないしは栄養を与えるものに集中することを可能にする』～(それは)(6)としてよく知られている状態である。」

“the body to focus on things that are basically restorative or nourishing” とほぼ同じ意味になるような選択肢を(6)に入れるとよいので、アを選ぶ。

6 [同義語抜粋] 「下線部(7)の表現は何を指しているか。同段落から最も適切な5語の表現を見つけよ」

“Interestingly, people practicing breathwork seem to find a sweet spot at around six breaths a minute. This appears to bring about markedly greater relaxation ~. He points out that this frequency can be found in the repetitive actions of many spiritual practices — such as ~”

「興味深いことに、呼吸法を行う人々は1分間に6呼吸くらいでちょうどよいところを見つけるようである。これは顕著にリラクスの度合いを高めるように見える～。彼はこうした頻度(呼吸数)が、～といった多くの精神修養の反復的な活動の中で見つけられることができると指摘している」

frequency は「呼吸の頻度」と表しているので、解答は around six breaths a minute と考えられる。

7 [空所補充] 「空所(8), (9), (10)に入れるのに最も適切な語を下の選択肢から選び、「ア」から「オ」の文字で答えよ。なお同じ語を2回以上使ってはならない」

- (8) “He says that interest has “exploded” recently, with clients including large banks, management consultancy firms and tech companies. They are partly drawn by its (8), he says. “You don’t have to have had experience meditating or practicing mindfulness. Once you learn how the breath affects your mind and body, you now have a quick and easy way to change your state ~”

「彼の言うところによると、興味は最近『爆発的に増え』、大銀行や経営コンサルタント会社やテック企業を含むクライアントがいる。彼らはその簡潔さによって惹かれている部分はある、と彼は言っている。『瞑想やマインドフルネスの実践の経験は必要ありません。いったん～ば、自分の状態を変える素早く簡単な方法を手にしているのです』」

(8)を含む一節が、呼吸法 (breathwork) の retreat (瞑想)や、企業での研修を行っているポストツクの談話の一部であることをおさえる。呼吸法が大企業の社員たちに人気である理由を考えるとよい。その後の太字部分を参照すれば、エの simplicity が入るとわかる。

- (9) “For example, one recent trial immersed participants in a virtual reality beach at sunset. Their heart rate variability was illustrated by clouds on the horizon; the more relaxed they became, the clearer the sky. The immediate (9) appeared to ease their journey into that relaxation response —.”

「例えば、ある最近の試験で、被験者に仮想現実上の日没時の海辺にいてもらった。彼らの心拍数の変化は地平線上の雲によって示された。つまりリラクセスすればするほど、空が晴れてくるというわけである。そうした直接的な(9)は、あのリラクセス状態への彼らの旅を簡単にしてくれるように思われた。～」

(9)には、太字部分にあるような、心拍数の変化が仮想現実の映像の変化として被験者にわかるような仕組みを表す語が入ると考えられる。よって、アの feedback が入る。

- (10) “The latest scientific research simply helps us understand the (10) why these practices are so beneficial...”
 (10)の直後に関係副詞の why があることに注目する。(10)にはその先行詞が入るから、ウの reasons が解答となる。

II

1 [空所補充] 「空所(1), (2), (3), (4), (5)に入れるのに最も適切な語を下の選択肢から選び、「ア」から「オ」で答えよ。なお同じ語を2回以上使ってはならない」

(1)(2)(3)

“Health care workers are a society’s first line of defense, and many have been working long hours with inadequate supplies, while dealing with the stressful possibility of falling ill themselves, of infecting their families or of spreading the virus to their patients.”

「医療従事者は社会にとっての防衛の最前線であり、自分自身が病気になったり、自分の家族に感染させたり、ウイルスを患者に広めたりするといった緊張を強いるような可能性に対処しながら、供給が不十分な中で長期間仕事をしてきた人が多い」

(1) fall ill で「病気になる」 (2) infect their families で「家族に感染させる」 (3) spread the virus で「ウイルスを広める」という意味。

- (4) “The rest of us owe you and your co-workers a huge debt of gratitude — and a good way for us to show that gratitude is by following the recommendations for social distancing and staying at home whenever possible.”

「私たちはあなたとあなたの同僚に非常にお世話になっているのであり、私たちがその感謝を示すのに良い方法といえば、可能な限りソーシャルディスタンス確保の推奨に従い、ステイホームを実践することである」

目的語が the recommendations for social distancing 「ソーシャルディスタンス確保の推奨」であることから、 following 「従う」を選ぶ。

- (5) “They are people who respond intelligently to a challenge, assessing the likelihoods of hazards and benefits, and making a judgement about which chances are worth taking.”

「勇気のある人というのは、課題に対して理性的に対応する人であり、彼らは有害か有益かの可能性を評価し、どの可能性が選ぶに値するかについての判断をするのである」

assess the likelihood 「可能性を評価する」

2 [空所補充] 「空所(6), (7), (8), (9), (10)に入れるのに最も適切な語を下の選択肢から選び、「ア」から「オ」で答えよ。なお同じ語を2回以上使ってはならない」

(6)(7)(8)

‘As Aristotle put it, courage means that you “endure or fear the right things and for the right purpose and in the right manner and at the right time”.’

「アリストテレスが述べたように、勇気が意味するのは『耐えるべきものを耐え、恐れるべきものを恐れること、しかもそれを然るべき目的で、然るべきやり方で、そして然るべき時に行う』ということである」

(6) for the ~ purpose で「～な目的で」 (7) in the ~ manner (way)で「～な方法で」 (8) at the ~ time 「～な時に」

- (9) “Begin with the fact that ~.”

「～という事実から始めよう」

begin with~ 「～から始める」

- (10) “But you won’t be of use to anyone if you get seriously ill.”
 「しかし、もしあなたが大病にかかれば誰の役にも立たないであろう」
 of use (= useful) 「役に立つ」

3[空所補充] 「空所(11)に、最も適切な英単語を入れて文を完成させよ」

- (11) “You also have obligations, as you recognize, that are shaped not just by your workplace responsibilities to colleagues and patients but also by your ties to family and friends.”
 「お気づきだろうが、あなたの側にも同様に責務があり、それを生み出しているのは単に自分の職場の同僚への責任だけでなく、自分の家族や友人との絆でもある」
 後ろにある “but also” に気づく必要がある。空所(11)に not を入れると、 <not just A but also B> 「A だけでなく B も」という表現が完成する。

4[文中語句整序] 「角カッコ[12]と[15]内の語および語句を並べ替えて正しい英文を作れ。以下の * に来る語あるいは語句を選び、「ア」から「カ」の文字を用いて解答欄に書け」

- [12]: But you may be able to help your colleagues here — perhaps [ア by / イ know / ウ letting / エ that / オ the stakes / カ them] for you are higher than for most.

解答はイ, “But you may be able to help your colleagues here — perhaps by letting them know that the stakes for you are higher than for most.” となる。

「しかしながら、ひよっとすると、自分たちにとっての危険は大半の人々にとっての危険よりも大きいということを同僚に知ってもらうことで、あなたの同僚をこの点で助けることができるかもしれない」
 “letting” という選択肢より <let O 原形> の語順を予想して, letting them know that S’ V’ ~とする。
 them は主文の your colleagues を指す。また you 以下の主文がすでにあることから, perhaps 以下は by letting ~ という副詞句にまとめることができる。あとは the stakes を that 節内の主語に据えれば良い。

- [15]: People who don’t suffer much themselves from such infections can [ア do / イ spread / ウ them / エ those / オ to / カ who].

解答はオ, “People who don’t suffer much themselves from such infections can spread them to those who do.” となる。

「そこまで気にしていない人々が、気にしている人々にその伝染病を移しう可能性がある」
 <spread A to B> 「A を B に広める」という用法から、助動詞 can の後ろには spread が入ると予想する。them は “such infections” を指すので、こちらが spread の目的語となる。なお、空所(3)に正しく語を挿入できていれば “of spreading the virus to their patients” となり並べる際の手掛かりになる。

5[空所補充] 「空所(13)(14)に入れるべき単語の組み合わせとして正しいものを、以下の選択肢から選び、「ア」から「エ」の文字で答えよ」

2つの空所を含む第9段落全体のおよその意味は「残念ながら、アメリカの大多数の人々は、インフルエンザの流行期の真っ只中である2月までに予防接種を受けなかった。もっと多くの人が受けていれば、入院数は(13)だったであろうし、この新たな脅威に対処するために自由に使える資源を(14)手にしていたであろう。」である。

いずれの空所の選択肢も fewer 「より少ない」と more 「より多い」である。インフルエンザの予防接種をもっと多くの人が受けていれば、入院患者数は「より少ない」と想像できる。またその結果、「より多くの」病床や人手を「この新たな脅威」である Covid-19 への対応に充てられたであろう。

以上から選択肢の組み合わせはイ, fewer—more とわかる。

6[空所補充] 「空所(16), (17)に同じ英単語を入れよ」

空所(16)(17)を含む第10段落第1文の構造に注目する。

(16)(17) :

Tell your friend (16), as much as you love her, you think she should be keeping herself away from others and (17) you're going to delay the dinner until you can both be sure she's not contagious.

このように Tell your friend で始まっていることから, tell O that S' V ~ 「Oに~だと伝える」という形であるとわかるだろう。したがって, 空所(16)には that が入る。これを空所(17)に入れると, 直前の and で that 節が二つ並べられていることになり, 文として正しく成立する。

III

1 [空所補充] 「空所(1), (6), (7), (15)に入れるのに最も適切な語を下の選択肢から選び, アからエで答えよ。なお同じ語を2回以上使ってはならない」

(1) “if we take advantage of already available digital data”

「もし我々がすでに手に入れているデジタルデータを利用できるなら」

<take advantage of ~> 「(機会・利点・成果など) を利用する」

(6) “This year our team at Scripps Research published a paper demonstrating the ability to predict hot spots for flu by means of a smartwatch or fitness band.”

「今年, スクリプス研究所にある我々のチームはスマートウォッチやフィットネスバンドを用いてインフルエンザが流行りそうな場所を予測できることを示す論文を発表した」

<by means of ~> 「~によって」

(7) “~, Apple and Google are working on a contact-tracing app to alert people — on an opt-in basis — if they've been in touch with someone known to have the novel coronavirus.”

「~Apple と Google は, もし新型コロナウイルスに感染していると判明した人と接触した場合, 事前承認型ではあるが, アラートを出す接触追跡型のアプリを開発中である」

<in touch with ~> 「~と連絡を取り合って, ~と触れ合って」

(15) “This year, some countries, such as South Korea, Taiwan, Singapore, Hong Kong and Iceland, successfully got ahead of the virus and contained their covid-19 outbreak.”

「今年, 韓国, 台湾, シンガポール, 香港, アイスランドなど, いくつかの国はコロナウイルスに先手を打ち, covid-19 の流行を抑えるのに成功した」

<get ahead of ~> 「~を追い越す・しのぐ, ~の前に出る」

2 [空所補充] 「空所(2), (3), (4), (5)に入れるのに最も適切な語を下の選択肢から選び, アからエで答えよ。なお同じ語を2回以上使ってはならない」

(2)(3)(4)

“Most of the plans for recovery hinge upon testing — both for the virus, to determine who has an infection, and for the antibodies to the virus, to determine who has recovered from it. But these important tests have major limitations.”

「回復への計画の大部分は検査にかかっている。その検査とは, 誰が感染しているのかを明らかにするために行うコロナウイルスへの検査と, 誰がコロナウイルスから回復したのかを明らかにするために行うコロナウイルスの抗体への検査の両方である。しかし, この重要な検査には大きな限界がある」

(2), (3)は “for the virus” と “for the antibodies to the virus” というように対比関係にある。そのことから, 選択肢は似たような形で対比の内容となっているイかエに絞られる。あとはウイルス(virus)と抗体(antibodies)という単語から内容を推測すればよい。

(4)は直前の But に注目する。直前の文で「回復からの計画は検査にかかっている」と書いてあ

る。そこから But に繋がることから、この文には検査に関する否定的な内容が書かれていると予測できる。実際(4)以後の文にはその具体例が列挙されている。

- (5) “Moreover, antibodies may or may not protect a person from spreading the virus or getting a second infection, and we have no idea how long they last.”

「さらに、抗体は、ヒトがそのウイルスを広めたり再感染したりするのを防ぐのかどうか分からず、その抗体の効果がどれくらい続くのかも分からない」

and より前に <may or may not ~> 「~かもしれないし、そうでないかもしれない」と書かれており、抗体に関して確信が持てないことが示されている。そこから and 以後でも確信が持てない内容が書かれていると推測できるであろう。

3 [文中語句整序] 「角カッコ[8]と[11]内の語を並べ替えて正しい英文を作れ。以下の * に来る語を「ア」から「オ」の文字を用いて解答欄に書け」

- [8]: “Like our traffic maps for driving, [8 : ア all / イ are / ウ enough / エ need / オ we] people’s smartphone signals to give accurate guidance to all.”

解答はエ, “Like our traffic maps for driving, all we need are enough people’s smartphone signals to give accurate guidance to all.” となる。

「運転する時の道路地図のように、我々が必要とするのは全ての人に正確な指示を伝えるための十分なスマートフォンの電波の強さだけなのだ」

<All S have to do is (to) do ~> という表現を知っていれば、そこから応用させて “all we need are ~” という形を思いつけるであろう。続いて「enough 名 to do ~」という形を思い出せば、正解の形に繋がるはず。

- [11] “But with digital tracking, we could zoom [11 : ア a / イ cluster / ウ in / エ on / オ small] or ~”

解答はア, “But with digital tracking, we could zoom in on a small cluster or ~.” となる。

「しかしデジタル追跡を用いることで、小規模なクラスターや~に注目することができる」

zoom in on ~ : ~にズームインする/~に関心を集中させる

4 [活用変化] 「空所(9)と(10)の動詞を適切な活用形にせよ」

- (9) “<Recently>, <(9 : inspire) by our publication of the heart rate and flu detection study>, Germany launched a smartwatch app (backed by their national Robert Koch Institute); ~”

文全体の構造を確認すると、空所(9)からカンマまでが副詞句であり、後に “Germany launched a ~ app” という第3文型が成立していることがわかる。空所(9)からは分詞構文であり、主語 “Germany” との関係予想すると “inspired” という過去分詞が必要であるとわかる。そのおよその意味は「最近、心拍数とインフルエンザ検出に関する研究を私たちが公表したことに触発されて、ドイツではロベルト・コッホ研究所の支援を受けたスマートウォッチ向けアプリの開発が始められた」である。

- (10) “<In (10 : face) the pandemic>, <however>, the trade-offs for digital tracking were seen as worthwhile.”

<in doing ~> という表現を知っていれば、それだけで答えが決まるだろう。およその意味は「しかしながらパンデミックに直面すると、デジタル追跡のために代償を支払うことには価値があると見なされた」である。

